

病院見学について

北部地区医師会病院では、年間を通して病院見学を受け入れています。
スケジュールやご希望に合わせて見学内容は調整可能です。

診療科の案内

消化器内科、呼吸器・感染症科、内分泌・代謝科、消化器外科、救急科
整形外科、リウマチ科、放射線科、病理診断科

日時・日程

必要なもの

随時（ただし、日曜日、祝日、年末年始などを除く）
ご都合・ご希望に合わせて、調整いたします。
※見学希望の方は、事前にご希望の日程を人事課
リクルート担当へお伝えください。

①履歴書 ②筆記用具
③白を基調とした動きやすい靴
※白衣等は貸出あり

地域で学ぶ、専門も学ぶ

— 自分のペースで成長できる環境がここに —

クリニカルクラークシップも受付中！

病院見学以外にクリニカルクラークシップも受け付けています。
詳しくは、直接お電話いただくか、ホームページよりお問合せください。

臨床研修医募集要項



公益社団法人 北部地区医師会
北部地区医師会病院

— Okinawa NagoCity —

公益社団法人 北部地区医師会 **北部地区医師会病院**

〒905-8611

FAX : 0980-53-3271

ホームページ

名護市宇佐茂佐1712番地3

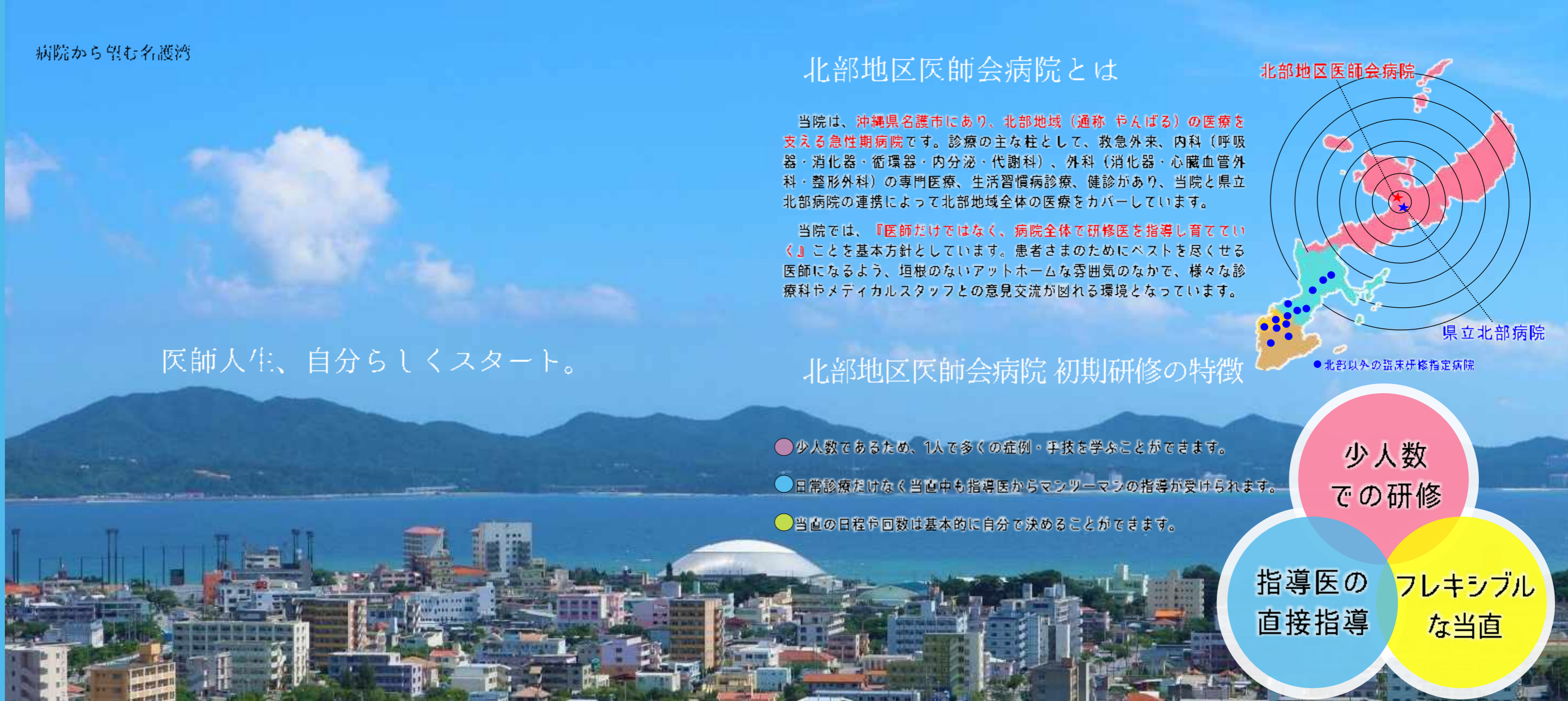
E-mail : jinji@nagohp.com



TEL : 0980-54-1111

人事課 リクルート係





医師人生、自分らしくスタート。

北部地区医師会病院とは

当院は、沖縄県名護市にあり、北部地域（通称 やんばる）の医療を支える急性期病院です。診療の主な柱として、救急外来、内科（呼吸器・消化器・循環器・内分泌・代謝科）、外科（消化器・心臓血管外科・整形外科）の専門医療、生活習慣病診療、健診があり、当院と県立北部病院の連携によって北部地域全体の医療をカバーしています。

当院では、『医師だけではなく、病院全体で研修医を指導し育てていく』ことを基本方針としています。患者さまのためにベストを尽くせる医師になるよう、垣根のないアットホームな雰囲気の中で、様々な診療科やメディカルスタッフとの意見交流が図れる環境となっています。



北部地区医師会病院 初期研修の特徴

- 少人数であるため、1人で多くの症例・手技を学ぶことができます。
- 日常診療だけでなく当直中も指導医からマンツーマンの指導が受けられます。
- 当直の日程や回数は基本的に自分で決めることができます。

少人数
での研修

指導医の
直接指導

フレキシブル
な当直

「地域の未来を見据え、今、ベストを尽くす！」



病院長
しよまた はやし
諸喜田 林

北部地区医師会病院は、平成3年に北部地区医師会によって設立され、沖縄県北部地域の中核病院として「**地域医療への貢献**」の理念に基づき尽力しています。院長に就任して以来、10年後20年後の沖縄北部地域の医療の安定を目指し、医師等の医療従事者の雇用と定着を図るため、さまざまな関係機関と連携を図ってきました。

「ひとりの患者さまを病院全体で診ていく」というスタンスのもと、「**患者さまの為にベストを尽くすには、誰もが主治医と同等に意見を言えることが大切**」と考え、スタッフの意識を変え、やりかいを引き出すための仕組みづくりや雰囲気づくりに日々取り組んでいます。これらを追及することで、医療の質が向上し、医療従事者が病院・地域に定着し、その結果「北部地域の医療が安定する」と考えています。あなたが活躍するフィールドかここにあるかもしれません。興味のある方は、臨床の現場を見に来てください。「**地域から求められる医療**」を実践していることを感じてもらえると思います。

「実際に来て、見て、感じてほしい！」

皆さんはどのような「臨床研修」を求めていますか？

- 一 当院は有名な病院ではありません。ですが、高度の専門診療も可能な内科・外科・各専門科の医師をそろえ、**沖縄県北部の地域医療の中核を担う病院**です。
- 一 指導医数は決して多くはありません。ですが、どんなに忙しいときでも、指導を嫌がる医師は当院にはいません。
- 一 当院では各科「屋根瓦式の指導体制」ではありません。ですが、研修医が、ローテーション中ではない他科の先生方に直接コンサルトを行い、指導を受けている日常の風景を病院見学の際に見かけることができます。
- 一 当院では、研修医の要望する研修に応えるように取り組んでおります。

皆さんが当院に見学に来られ「**この病院ではこんな研修が出来そうだな。やってみようかな？**」と感じてくれる。それがきっと当院の「特徴」なのだと思います。実際に当院で研修を受けた研修医は、「**こういう病院だから来た**」ではなく、「**こういう研修がしたいから来た**」と答えてくれます。

沖縄には多くの臨床研修病院がありますが、ホームページや病院案内に書いてある文言を比べるばかりでは、どんな研修ができるかわかりません。**実際に病院見学に来て、見て、感じてほしい**と思います。



臨床研修委員長
かわまた ひさなが
川又 久永

選択度の高い初期研修プログラム

必修科研修 78週

内科	30週	消化器内科、呼吸器・感染症科、循環器内科 2年目 8週：一般外来研修を含む
救急科	12週	救急科8週、麻酔科4週
外科	8週	消化器外科
小児科	4週	琉球大学医学部附属病院などの協力病院での研修
産婦人科	4週	琉球大学医学部附属病院などの協力病院での研修
精神科	4週	協力病院での研修
地域医療	8週	協力施設の中から2か所の診療所をローテーション
整形外科	4週	当院で定めた必須科研修
皮膚科	4週	当院で定めた必須科研修

選択科研修 24週

研修医の希望により選択科を調整します。3年目以降の進路を考慮した柔軟性のあるプログラムで、院内だけでなく、協力病院での研修も可能です。

選択診療科：内科、外科、救急科、麻酔科、整形外科、耳鼻咽喉科、眼科、泌尿器科
脳神経外科、心臓血管外科、小児科、産婦人科、精神科、地域医療

その他研修内容

全研修期間を通して、感染症対策、緩和ケアなどの各チーム回診に参加することが可能です。

ローテーション例

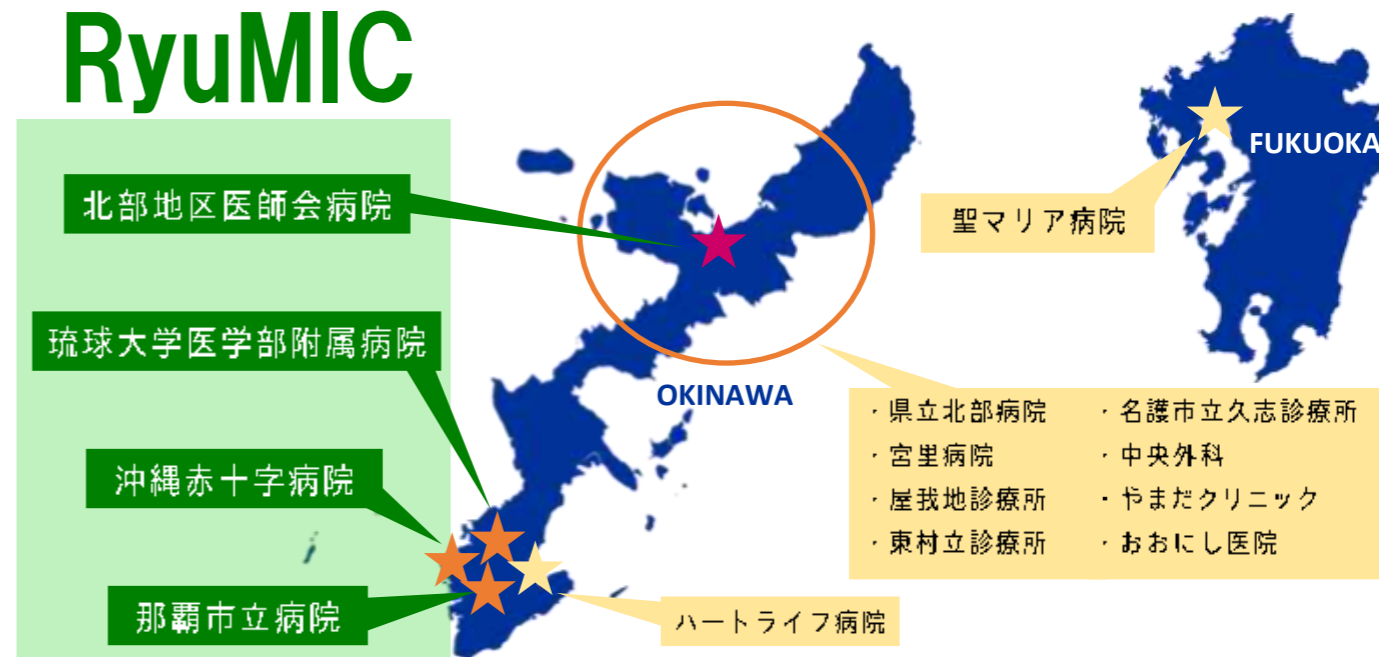
1 年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	内科22週 (消化器・呼吸器・循環器)					救急科8週		麻酔科 4週	外科8週		整形 外科 4週	皮膚科 4週

■オリエンテーション2週



多くの研修協力病院

RyuMIC



※RyuMICとは琉球大学医学部附属病院と他の基幹型臨床研修病院、臨床研修協力病院及び研修協力施設が相互に連携を図ることによって、より良い臨床研修を実現するために形成された臨床研修グループのことです。当院を含めた4病院で構成されています。

2 年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	内科8週		小児科 4週	産婦 人科 4週	精神科 4週	地域医療 8週		選択研修24週				

各専門科の研修内容

消化器内科

消化器内科では、胃・大腸・肝胆膵疾患を中心に診療しています。疾患の特性上、消化管内視鏡検査の重要性は大きく、胃カメラ・大腸カメラはもちろんのこと、ERCPや超音波内視鏡検査も毎週行っています。研修医には内視鏡検査や腹腔穿刺など手技にも積極的に関わってもらいます。



◆内視鏡検査(2018年度) 胃カメラ：6,859件 大腸カメラ：1,378件

呼吸器感染症科

呼吸器・感染症科では、肺炎や気管支喘息、COPDといった頻度の高い疾患から、肺癌、間質性肺炎、結核といった専門性の高い疾患まで幅広く対応しています。研修医には、グラム染色や胸腔穿刺・胸腔ドレーン留置、気管支鏡検査を積極的に行ってもらいます。



◆気管支鏡検査(2018年度) 106件

循環器内科

循環器内科では、虚血性心疾患（狭心症・心筋梗塞）に対するカテーテル検査・治療を中心に、デバイスの植え込み（ペースメーカー/ICD/CRT-D）や不整脈治療（薬物治療・アブレーション）、末梢動脈疾患のカテーテル治療を行っています。



◆循環器/検査・治療(2018年度)

心カテ：665件 PCI：230件 心臓血管手術：55件

その他の専門科

内分泌・代謝科

リウマチ科

皮膚科

集中治療室

病理診断科

心臓血管外科

検診科*

腎臓内科(透析)*

放射線科

*関連施設の専門科

消化器外科

消化器外科では、下部食道から肛門までの上・下部消化管における手術と肝・胆・膵の手術を行っています。鏡視下手術にも力を入れており、消化管手術における鏡視下手術の割合は年々増えています。研修医には積極的に手術に参加してもらい、症例によっては指導医のもと助手だけではなく執刀医にもなってもらいます。



◆外科手術(2018年度) 一般：574件 乳腺外科：35件

整形外科

整形外科では、骨折をはじめとした外傷、関節疾患、腰椎疾患などを中心に専門的な治療を行っています。研修医には、できるだけ多くの手術や手技に参加してもらいます。



◆整形外科手術(2018年度) 一般：416件 リウマチ：33件

救急科

救急科では、救急車搬送の患者さまと救急処置が必要な患者さまの初療対応を上級医と共に行ってもらいます。採血や末梢ライン確保、気管挿管、中心静脈カテーテル留置、簡易エコーなどの手技を修得するとともに、「問診・診察→鑑別疾患→検査オーダー→病態把握→上級医と治療方針についてディスカッション」という診療の流れの中で多くの経験を積んでもらいます。



◆救急外来(2018年度) 救急患者数：9,459名 救急車搬送：2,090件

麻酔科

麻酔科では、一般外科・整形外科の手術における、全身麻酔、脊髄クモ膜下麻酔、症例によっては硬膜外麻酔の穿刺、気管挿管、動脈確保、中心静脈穿刺などの手技を学んでいただきます。研修期間中にすべての麻酔手技をマスターするのは難しいですが、限られた研修期間の中で多くの手技を修得してほしいと思います。



勉強会・カンファレンス・総回診

当院では、年間を通して数多くのレクチャーや勉強会が行われており、日常診療に役に立つ知識・技術を得ることができます。また、日常診療で経験した疾患について、研修医がプレゼンターを務める症例検討会を毎月行っています。

月曜 **整形外科総回診**
毎週月曜の8:30~9:00に整形外科総回診を行っています。

火曜 **消化器内科G勉強会**
毎週火曜日8:00から内視鏡検査に関することや消化器疾患について勉強会（病理検討会も含む）を行っています。
[\詳細はこちら/](#)

火曜 **内科総回診**
毎週火曜日の13:00~14:30に内科総回診を行っています。

水曜 **研修医向けレクチャー**
毎週水曜日の7:50~8:30に各科のDrや関連施設のDrが週替わりで研修医向けレクチャーを行っています。月に1回は研修医による症例検討会を行っています。
[\症例検討会/](#)
[詳細はコチラ](#)

レクチャー内容（一部抜粋）

そのCT所見は異常？正常？	放射線科	結核	呼吸器・感染症科
寄生虫疾患について	検査・病理科	肝臓病	消化器内科
Rapid Response System	集中治療室	人工関節	整形外科
感染症法と食中毒について	健康管理センター	痔核について	外科
関節炎疾患について	リウマチ科	気道確保困難への備え	麻酔科
アトピー性皮膚炎が「ドライ」をみれば皮膚科の基本は大体いける	皮膚科	手指の感覚障害（2PDとSW test）	救急科

木曜 **呼吸器・感染症科G勉強会**
毎週木曜日の7:50~8:30に病理・画像カンファレンスを含む勉強会・症例検討会を行っています。
[\詳細はこちら/](#)



金曜 **Dr長澤（副院長）のレクチャー**
隔週金曜日の7:50~8:30に副院長のDr長澤による内科学全般のレクチャーを行っています。また、医局員や研修医のリクエストに応じたレクチャー（リクエストアワーズ）も適宜行っています。
[\リクエストアワーズ/](#)
[詳細はコチラ](#)

レクチャー内容（一部抜粋）

外来で糖尿病を診る為に	院内機能紹介 ポリファーマシー対策がなぜ必要なのか
「口型には気をつける」重症外傷は二倍死に多い?	「糖尿病の新しい展開」糖尿病性腎臓病DKUとは?
「食事療法と考え方と実際」噂の糖質制限、何が良くて何が悪いのか	免疫チェックポイント
「新しい脳梗塞治療」急性期脳卒中対応における課題	「胆道の治療は外科手術」Bantric surgeryからMetabolic surgerへ
血圧の管理目標は如何にあるものか?	「脂質異常症について」高コレステロール血症を中心に
リクエストアワーズ 「尿酸値は管理すべきなのか」痛風と高尿酸血症を区別していますか?	

金曜 **外科術前カンファレンス**
毎週金曜日の17:00から外科術前カンファレンスを行っています。

土曜 **救急症例カンファレンス**
毎週土曜日の8:00~9:00に研修医を対象とした救急症例カンファレンス（振り返り&フィードバック）を行っています。

チーム医療の実践

当院では、ICT（感染制御チーム）、NST（栄養サポートチーム）、RST（呼吸器サポートチーム）、PCT（緩和ケアチーム）など多職種が連携するチーム活動に研修医も参加することができます。



ひが ゆうや
比嘉 裕也

— 言語聴覚士 —

「医師に相談しやすい環境です」

リハビリプログラムや状態に沿った退院支援の相談や生活動作においての禁忌事項の確認など医師との関わりは多くあります。他にもNSTやRST回診で専門性を活かして関わったり、医師立ち会いのもと嚥下機能評価をさせて頂いたりと関わり方は多岐に渡っています。医師に診療で不明点などをお伺いすると親身に対応して頂いたり、血液検査やVF（嚥下造影）など検査相談をすると早急に対応してもらえる点など、相談しやすい環境だと思います。

プライベートでも部署間を越え、交流会等が多く行われます。職種に関係なく分け隔てなく会話していることは魅力的だと思います。



とぐち はるか
渡久地 陽架

— 臨床検査技師 —

「診療に関わっていると実感」

当院で働いているスタッフは若い方が多く、行っている活動（業務改善発表会や忘年会など）は他の病院に引けを取らないくらい盛り上がっていると思います。

私は細菌検査を担当していて、検出菌や薬剤感受性の結果などで医師と連絡を取り合うことがよくあります。私の知識不足で、「どうしてこんな結果が出るの?」となることもありますが、毎日のように医師とディスカッションすることで感染症診療に関わっていると実感できます。



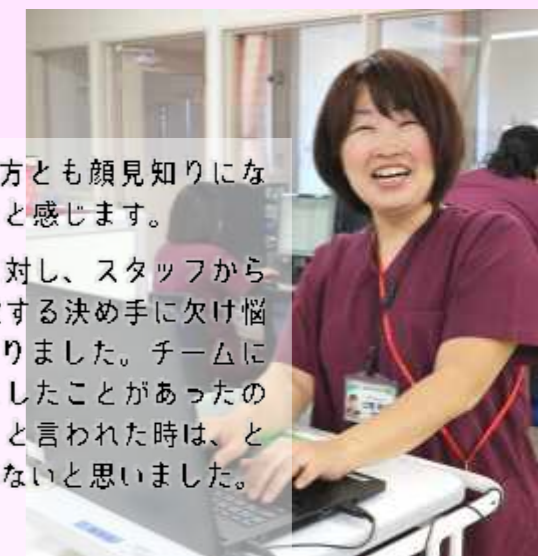
ひが じゅんこ
比嘉 純子

— NST専従看護師 —

「互いに支え合う関係で」

忘年会など多職種の交流会が数多くあり、そこで他部署の方とも顔見知りになり、些細なことでも確認や、声掛けがしやすい雰囲気職場だと感じます。

回診時のカンファレンスでは、病態把握が困難な患者さまに対し、スタッフからの質問に丁寧に答えてくれる医師が多く、補助栄養内容を決定する決め手に欠け悩んだ際にも、医師から適確なアドバイスをもらうこともありました。チームに入った初期に経腸栄養剤の変更指示ミスでインシデントを起こしたことがあったのですが、医師へ謝罪に行くと、「自分も確認不足だったから」と言われた時は、とてもありがたかったですし、さらにNSTを頑張らなくてはならないと思いました。



たから ひでし
高良 秀史

— 薬剤師 —

「チームで感染症診療を支える」

各部署間はもちろん職種間でも垣根がなく、明るい優しい雰囲気患者さまへより良い医療・標準的な医療が受けられるよう頑張っている職場です。何と云っても職員に温かい病院だと常日頃感じております。

私は感染制御認定薬剤師としてICT（感染制御チーム）に所属し、院内感染ラウンド等でICD（インフェクションコントロールドクター）と連携し、感染対策や抗菌薬の適正使用を支援し、薬学的管理が図られているか協同で行っております。医師と薬剤師間で薬剤の投与方法に関して相違があった際、直接薬剤師まで医師が足を運んで頂き、顔を突き合わせて議論し考えを共有、修正できました。当院の医師はコメディカルを尊重し、患者さまをチームで支えているのだと感じさせてくれます。



研修医からのメッセージ

当院の研修医は少人数ですが、他院研修医（関門医療センター・聖マリア病院・琉球大学医学部附属病院）が年間10名ほど研修に参加します。他院研修医と交流が図れるのも魅力の一つです。

また、当院では、部署間の交流を図るための新入職員歓迎会やBBQ、院内ポウリング・大忘年会など様々なイベントを計画しています。特に大忘年会では、毎年多くの職員が参加するため、リゾートホテルの宴会会場を借り切って行っております。また、クラブ活動も活発に行われています。バスケットボール・テニス・野球などあり、研修医も積極的に参加し、部署や職種を越えて活動しています。



もろおか りょうと
諸岡 遼子
— 2年目初期研修医
山口大学 出身

研修内容と
環境の良さが決め手

生まれは関東ですが、進学で東京から山口へと移り住み、「研修は地元で」というこだわりは、ありませんでした。研修先としては、**研修医の数が少なく、地域密着型の病院**をレジナビで探し出し、いろいろ見学した中から、**スタッフとの距離が近く、雰囲気もよく、研修医室も広く、環境も良い**当院を選びました。

実際に当院で研修を始めて1年以上になりますが、**おおらかな雰囲気**で、**コ・メディカルの方々**ともとても話しやすく、**研修医の数も少ない分、ほぼ全ての医師、職員に名前を覚えてもらっています**。そのため、**様々な立場から指導を受ける事が出来ています**。

少人数で忙しすぎず、自分のペースで研修をしたい、という方はぜひ見学にきてください!



なかま ともき
名嘉真 智樹
— 1年目初期研修医
久留米大学 出身

診療科の垣根が無く
指導医に気軽に相談できる

私は地元名護市の出身であり、北部・やんばる地域の医療に貢献したいと考え、当院を研修先を選びました。出身大学が沖縄県外であったため、**選択肢はたくさんありましたが、病院見学をした時の医局の雰囲気やそれぞれの部署で働くメディカルスタッフを見て、研修するならここしかない**と思いました。

当院は**診療科の垣根が無く、分からないことがあるとローテーション中の診療科以外の先生方にも気軽に相談やコンサルテーションができる**のでとても魅力的な環境だと思います。

自分の専門分野はまだ決めていませんが、当院での**初期研修で医師としての基本的なスキルや診療態度を身に付けていきたい**と思います。



おおた けいと
太田 圭人
— 1年目初期研修医
琉球大学 出身

自分のペースで
多くのことを学ぶことができる

当院の良い所は、**研修医の数が少ないため、症例を取り合う事が無く、手技を多く経験**できることです。また、私は**マイペースな性格**なので、**他の研修医に気を遣うことなく実習が出来るのはとても魅力的**です。上級医の先生方は優しく、**相談にも気軽にのってくれる**ので、**学びやすい環境**です。また、**医局内に一切のセパレートがなく、アットホームな雰囲気**で**圧迫感など感じる**ことなく、働きやすい環境です!

沖縄県には素晴らしい研修病院が沢山あると思いますが、**自分のペースで学ぶことができ、診療科の垣根がなく先生方との距離が近い病院はあまりない**と思います。**自分の性格やペースに合った研修病院を選ぶことはとても大切な事**だと思います。



臨床研修医 募集要項

募集定員	初期研修医 3名
研修期間	2年(2020年4月1日~2022年3月31日)
プログラム 研修方法	RyuMIC北部地区医師会病院初期研修プログラム 総合診療方式(スーパーローテーション)
応募期間	随時
応募資格	令和2年医師国家試験合格予定の者 平成30年、平成31年医師国家試験合格者で臨床研修未実施の者
選考方法	マッチング方式による
病院見学	随時見学可能です。 見学希望の場合は、直接お電話いただくか、 ホームページの申込みフォーマットよりお申込みください。

＼詳細はコチラ／



臨床研修医 待遇

雇用形態	初期研修医(正職員)
勤務時間	《平日:月曜日~金曜日》 8:30~17:30 《土曜日》 8:30~12:30
給与	初期研修医1年目 基本給 300,000円(月給) 初期研修医2年目 基本給 345,000円(月給)
昇給	昇給:年1回(4月)
当直	《平日》17:30~翌日8:30 《土曜日》12:30~18:00 / 18:00~翌日9:00 《日曜日・祝日》9:00~18:00 / 18:00~翌日8:30 月4~6回程度(1回につき、12,800円~14,000円)
各手当	オンコール手当、年末年始勤務手当 等
休日・休暇	日曜日・祝日・週労40時間制、年末年始5日(12/30~1/3)
宿舍の提供	住宅手当で対応、契約家賃を除く敷金・礼金は病院負担
福利厚生	各種保険(健康、厚生年金、雇用、労災) 赴任手当、住居手当、扶養手当 医師賠償責任保険(法人加入) 院内保育施設完備(生後2ヵ月~4歳児まで) 車通勤可能(職員駐車場代 無料)

病院概要

名称	公益社団法人 北部地区医師会 北部地区医師会病院				
病院長名	諸喜田 林(しよまた はやし)				
所在地	〒905-8611 沖縄県名護市宇佐茂佐1712番地3				
TEL・FAX	TEL 0980-54-1111(代表) FAX 0980-53-3271				
許可病床数	236床	1日平均入院	179名	1日平均外来	217名
				平均在院数	16.7日
医療機能	急性期一般入院科1(7対1) 175床 HCU 6床 回復期リハビリテーション病棟 30床 地域包括ケア 25床				
診療科目	内科:消化器内科、呼吸器・感染症科、内分泌・代謝科、循環器内科 外科:消化器外科、乳腺外科、整形外科、心臓血管外科 救急科、麻酔科、リハビリテーション科、皮膚科、放射線科、病理診断科、リウマチ科				
診療時間	一般外来受付時間 平日:午前の受付 8:30~11:00 午後の受付 13:30~16:00 土曜日:午前の受付 8:30~11:00 診療開始時間 午前の診療 9:00~ 午後の診療 14:00~				
主な設備	64列CT装置、1.5テスラMRI・マンモグラフィー・骨密度計、X線撮影装置、 消化器内視鏡、気管支ファイバー、人工透析器、エコー装置、心臓カテーテル装置				
医療機関指定	保険医療機関指定病院、療養取扱機関、労災保険・生活保護法・結核指定医療機関、 特定疾患治療研究事業委託医療機関、原子爆弾被爆者一般疾患医療機関、救急告示病院、 臨床研修指定病院(基幹型)、地域医療支援病院、地域がん診療病院、DPC対象病院				



研修教育及び関連施設(2019年4月)

- ・日本内科学会認定医専門教育関連病院
- ・日本消化器病学会専門医制度認定施設
(認定施設:琉球大学医学部附属病院)の関連施設
- ・日本外科学会専門医制度修練施設
- ・日本整形外科学会専門医制度による研修施設
- ・日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ・日本麻酔学会認定施設

北部地区医師会病院 関連施設

- ◆北部地区医師会病院 健康管理センター
- ◆ちゅら海クリニック

正職員数(2019年4月)

医師	34人
薬剤師	13人
看護師	255人
その他	268人
計	570人

常勤医師数(2019年4月現在)

消化器内科	7人	外科	6人	救急科	1人
呼吸器・感染症科	3人	心臓血管外科	2人	麻酔科	2人
内分泌・代謝科	1人	皮膚科	1人	病理診断科	1人
循環器内科	2人	整形外科	4人	放射線科	1人
腎臓内科(透析)*	1人	リウマチ科	1人	検診科*	3人

*関連施設の医師数